

《新規メンバー募集のご案内》

技術広報フロンティアの相互啓発と異業種ネットワーク作りをめざす：

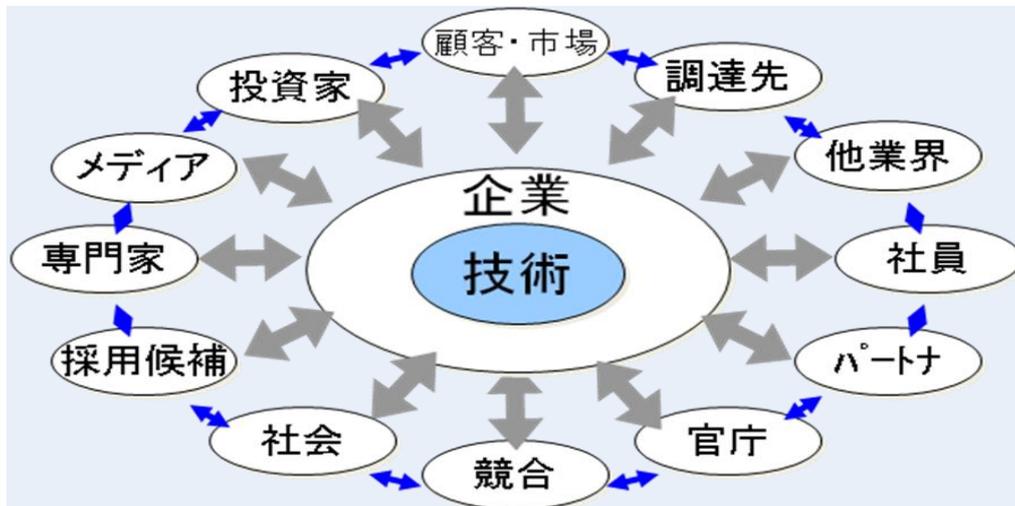
『技術広報』推進コース

■技術ブランディング・技術コミュニケーションによる企業価値向上策の探求と人的交流■

■開催にあたって

本コースは2010年4月に「技術広報研究フォーラム」として発足し、「技術広報」とは、「誰に」、「何を」、「どのように伝えるのか？」などの課題意識を持つ実務家が集い、成功・失敗事例・知見を本音ベースで討議し、情報交流を展開して参りました。黎明期にある「技術広報」を更に深化するには、「技術広報」に対する自社・自己課題の意識を持ち、様々な視点から知的アプローチを試みる実務家が集い、相互に学び、育成し合う活動の場の発展が必要不可欠との認識の下、技術広報の課題研究のみならず、その推進を担う人材の育成を目指した「コース」へと改組して今期より新たに展開致します。

「技術広報」に対する知見の交流とそれに続くディスカッションなどに加えて、技術広報フロンティアメンバーの相互啓発と人的ネットワーク作りの場となるよう運営して参ります。企業価値向上のための戦略的「技術広報」の探求・実践準備の一助として、本コースのご活用をお勧め申し上げます。



資料出所：本コースファシリテータ：ベクター コンサルティング LLC 代表 浪江 一公 氏

第1回例会：2011年 2月24日 木曜日 13:30～17:00 於：飯田橋 日本出版クラブ会館

※第1回プログラムは、正式参加をご検討中の方にコースの雰囲気をご覧頂く「体験参加」が可能です。詳細は最終ページをご参照下さい。

●13:30～14:30 【基本提起】

『技術広報の価値と目的』

ファシリテータ：ベクター・コンサルティング LLC 代表 浪江 一公 氏

大手電機メーカー、アーサー・D・リトル (ジャパン) ㈱、等を経て、現在ベクター・コンサルティング代表。経営及び技術マネジメントに関するコンサルティングにおいて約20年の経験を有す。㈱フュージョンアンドイノベーション、ディレクター及び日本工業大学専門職大学院客員教授 (マーケティング) を兼任。北海道大学工学部、米国コーネル大学経営学大学院 (MBA) 卒 著書・訳書に「プロフィット・ピラミッド 超高収益を実現する14のシンプルな法則」(著書) ダイヤモンド社 (韓国語及び中国語でも出版)、「エマソン 妥協なき経営」(訳書) ダイヤモンド社、その他 共著・共訳、雑誌への寄稿多数

●14:30～15:30 【実務家の視点：私論・試論】

『技術広報研究フォーラムを振り返って』

～技術広報担当として思うこと～

発表：花王株式会社 研究開発部門 研究企画G
研究運営推進 主任研究員 棚橋 弘枝 氏

●15:40～17:00

【メンバー交流・対話討議】 『技術広報の価値と目的』

■討議視点 例示■

- ・技術広報で何を指すのか
- ・技術広報の対象者は誰か？その価値は？
- ・従来との広報との相違
- ・技術広報の必要性の背景、等

参加メンバーにて「技術広報の価値・目的」に関する私見・意見・自社での取り組みなどに関する情報交換をおこない、認識を相互に共有します。



社団法人 企業研究会
Business Research Institute
http://www.bri.or.jp

■例会の進め方(原則として2部構成)

【全体会】 13:30~15:30	【共通テーマ交流・メンバー対話】 15:40~17:00
ファシリテータ・メンバーから： ・技術広報の考え方 ・推進組織、社内連携体制のあり方 ・活動対象とツールの有効活用策の考え方 ・技術広報の効果測定 of 考え方 などの私論・試論の提起を頂き、全体で考察します。	メンバー全員で： 「技術広報」に関する認識・考え方・すすめ方などの知見交流・討議を進めます。 最終例会（第5回）にて討議トピックスなど全体で共有します。 ※少人数でのグループ討議制も予定しています。

※予定時間配分・討議方法は、進行状況・参加者のご希望などを考慮して変更する場合があります。

【例会日程】	【全体会】	【共通テーマ交流・メンバー対話】
第2回 3月24日 (木)	13:30~14:30 【基本提起】 『技術広報の推進体制を考える』 ベクター・コンサルティング LLC 代表 浪江 一公氏 14:30~15:30 【実務家の視点・私論・試論】 『技術広報』のあり方、考え方、進め方 (仮題) ※参加メンバー・ゲストからの提起を予定	15:40~17:00 『技術広報の推進体制の考え方』 ■討議視点 例示■ ・技術広報の特長と課題 ・技術広報体制のオプション ・経営幹部の役割 (CEO/CTO/CMO 等)、等
第3回 4月21日 (木)	13:30~14:30 【基本提起】 『技術広報のコミュニケーションミックス』 ベクター・コンサルティング LLC 代表 浪江 一公氏 14:30~15:30 【実務家の視点・私論・試論】 『技術広報』のあり方、考え方、進め方 (仮題) ※参加メンバー・ゲストからの提起を予定	15:40~17:00 『技術広報のコミュニケーションミックスとは』 ■討議視点 例示■ ・技術広報コミュニケーションにおける What と How ・What:何を対象とするのか？ ・How:効率的・効果的なコミュニケーション手段とは？ 等
第4回 5月31日 (火)	13:30~14:30 【基本提起】 『技術広報と技術ブランディング』 ベクター・コンサルティング LLC 代表 浪江 一公氏 14:30~15:30 【実務家の視点・私論・試論】 『技術広報』のあり方、考え方、進め方 (仮題) ※参加メンバー・ゲストからの提起を予定	15:40~17:00 『「技術ブランディング」と「技術広報」の考え方』 ■討議視点 例示■ ・技術ブランディングとは ・技術ブランドと技術ブランディング ・技術広報における技術ブランディングの位置づけ 等
第5回 6月30日 (木)	13:30~15:30 【総括：1】 『これからの技術広報の可能性と具体策』 ※第1回~第4回までに学び合った課題・トピックスなどを振り返り、気付きなどを発表し合う。 ※他、参加メンバーからの『提案テーマ』などを討議します。	15:40~17:00 【総括：2】 これまでの討議・意見交換を踏まえて、次なる「技術広報」推進ステップへの道標と課題を共有します。

例会後の ■有志オフ会■	例会での ■情報交流■
例会終了後などの時間を活用し、有志メンバーにて会場を離れて討議の延長線、フランクな質問・意見交換などインフォーマルな知見交流の場で人的ネットワーク拡大します。	メンバーの意見・私見、お持ち寄り頂く配布資料などは、本コースでの討議目的以外の使用・公表は致しません。コース内、メンバー限定の実務に直結した資料です。

■コース運営の目的：

- ・実際の討議への参加による、技術広報に関する知識の深化
- ・技術広報に取り組む企業の相互事例研究
- ・実務家間での知見交流・私見討議に基づく、目指す方向性への共有
- ・技術広報戦略策定・効果的実施ための重要な知見の習得
- ・各企業が実際の技術広報推進上で直面する課題、工夫、展開方向性、背景等の理解

■メンバー構成：事業会社において、

- ・技術に関わる広報活動の体系的展開法を検討したい。
- ・既に何らかの形で技術に関わる広報活動を行っているが、更に強化したい。
- ・技術開発におけるオープンイノベーションを実践したい。
- ・技術の視点から自社のブランドを強化したい。

など、これからの「技術広報」の重要性を認識され、新しい広報・コミュニケーション策の可能性にご関心をお持ちの企業実務家であれば、業種・事業規模・所属部門・役職は問いません。

※コンサルティング企業・コンサルティング職の方はご参加頂けない場合がございます。

■ファシリテータ & アドバイザー：

※専門家の視点からテーマ、実務諸課題、ディスカッションについてのサポートをいただきます。

ベクター コンサルティング LLC 代表 浪江 一公 氏

■運営要領：

- ・会 期：2011年2月～6月 毎月1回 全5会合
- ・会 場：アイビーホール（表参道）・日本出版クラブ会館（飯田橋）・BRI セミナールーム（半蔵門）など
- ・例会連絡：原則例会日の3週間前に E-mail で例会詳細（日時・会場・進行予定など）をご案内致します。

- 参考情報：第1期 技術広報研究フォーラム（2010年4月～9月）での活動テーマ経緯と討議資料例
- 参加企業：本田技研工業・花王・キヤノン・ヤマハ発動機・日清オイリオグループ・旭硝子 ※順不同

※下記主題へのファシリテータからの提起の後、メンバー各位が持ち寄った意見シートを活用して討議を実施。

第1回	【Why to do】: 何のために技術広報を行うか？
第2回	【What to do】: 技術広報では どのような情報を対象とするのか？
第3回	【How to do】: 効果的な技術広報の為に、どのようなコミュニケーションミックスを採用するのか？
第4回	【What to do】: 技術というコンテンツで何を伝えるのか？ ～技術広報で伝えたいメッセージ～
第5回	【Who to do】: 技術広報の体制はどうあるべきか
第6回	【How to evaluate】: 技術広報の評価法をどう考えるべきか？

①技術広報は今後重要な役割を担う(2):7月21日の議論内容

最終目的

企業ブランド

製品価値

技術ブランド

確信・強化の拠り所の一つ

確信・強化の拠り所

確信・強化の拠り所の一つ

但し、

企業、事業によってはこのレベルでも良い（特に複数の事業を抱える企業）

注・企業(製品)によって、製品価値と企業ブランドが近い場合と近い場合がある

製品価値を経由しないものもあるか？

- 技術そのもの
- 当該技術を開発する目的・意志(企業、トップ、開発担当者) -XXX社の「※※※」
- 歴史
- 技術開発設備(※※※試験施設等)

注: 技術には、放っておいても技術ブランドになるパワフルなものと、技術ブランドに育てなければならぬものがある。当然大半は後者。

①技術広報は今後重要な役割を担う(3)

以上をまとめると技術ブランド強化は、技術広報活動の中核的な目的

技術広報活動

(企業ブランドと直結した) 技術ブランド

関連個別活動

関連個別活動

関連個別活動

関連個別活動

関連個別活動

個別活動

資料作成・ご協力：ベクター コンサルティング LLC 代表 浪江 一公 氏

■開催要項■

参加費： 1名：主登録メンバー

正会員	157,500円	本体価格 150,000円
一般	173,250円	本体価格 165,000円

※上記料金は資料代・通信費・消費税などを含んでおります。
 ※参加費の分割お支払いも可能です。ご請求品目等についてなどお気軽にご相談下さい。

■参加要領■

申込方法：下記申込書に所定事項ご記入の上、担当宛てに FAX または E-mail の送信をお願い致します。

- ・第1回例会通知（含む会場ご案内地図）を E-mail 送信致します。
- ・会費請求書は後日、郵送致します。
- ・お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、主登録メンバーの方がご出席頂けない際は、副登録メンバーの方のご出席をお願い申し上げます。

申込先：社団法人 企業研究会 「技術マネジメント」研究グループ 早瀬 宛

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 6階 TEL：03-5215-3512

- FAX でのお申込み： **03-5215-0951** ※FAX 番号のお間違えにご注意下さい。
- Eメールでのお申込み： hayakan@bri.or.jp ※担当：早瀬 宛
- ホームページからのお申し込み： <http://www.bri.or.jp> ※Top ⇒BRI ビジネススクール

《体験参加につきまして》

第1回例会（2/24）は、正式参加をご検討中の方にコースの雰囲気をご覧頂く「体験参加」が可能です。 ※費用無料・要事前予約
 ご希望の方は下記枠内にチェックを頂き必要事項をご記入の上、E-mail または FAX でご連絡下さい。折り返し、第1回例会ご案内を E-mail にて送信致します。

■技術広報 推進コース 申込書■ [事業コード：100141※]

ー下記□枠内にチェックをお願い致しますー

- 本コースの主旨に賛同し、正式に参加を申し込みます。
- 本コースへの正式参加を検討中につき、第1回例会の体験参加を希望します。

[区分] 正会員 / 一般

会社名：(フリガナ)	会社所在地：〒	—
TEL：	E-mail：	
FAX：		
ご所属／お役職	お名前：(フリガナ)	

【副メンバー登録制度】上記主登録メンバーの方がご出席頂けない場合、代理として例会にご出席を頂ける方を下記にご登録下さい。例会通知を同報 E-mail にてご案内致します。

副メンバー お名前：(フリガナ)	ご所属／お役職
E-mail：	

※主・副メンバー2名様で正式ご参加（毎例会2名出席）を頂ける場合、副メンバーの方のご参加費は「半額料金」にて承ります。詳細・ご不明な点は、お気軽に担当：早瀬までご連絡下さい。